

社会科学

| | | | |
|--------|-----------------------------|----------|--|
| 科目番号 | 2F-4 | 科目名 | マーケティング論 |
| 大学等名 | 活水女子大学 | 担当教員 | 細海 真二(国際文化学部国際文化学科 教授) |
| 開講形態 | 既存科目・前期 | 曜日 | 水曜日 |
| 教養・専門別 | 専門 | 時限 | 4時限 |
| 単位数 | 2単位 | 開講期間 | 令和8年4月7日(火)～令和8年7月24日(金) |
| 授業定員 | 50人(うち単位互換定員5人) | 開講時間 | 14時40分～16時10分(90分)「毎週水曜日」 |
| 履修年次 | 1年次以上 | 試験・評価方法 | 定期試験(50%)、授業中の発言・取り組む姿勢・グループワーク(30%)、ミニレポート(20%) |
| 開講場所 | 活水女子大学 | 実習費等 | なし |
| 選考方法 | 書類選考 | その他の特記事項 | なし |
| 連絡先 | 活水女子大学 教務課 TEL 095-820-6016 | | |

科目内容

| |
|---|
| <p>何を学ぶか</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「なぜ人はその商品を選ぶのか」「なぜ地域・企業に差が生まれるのか」を理論で読み解く ・STP、4P/4C、ブランディング、デジタルマーケティング等の基礎理論 ・商品・サービス・地域・観光・社会課題の多様な事例分析 <p>どう学ぶか</p> <ul style="list-style-type: none"> ・理論講義(30%) + 事例分析・ディスカッション(40%) + グループワーク(30%) ・ビジネスコンテストの実データ・企画スライドを教材に使用 ・データに基づく課題発見→戦略立案→発表のサイクルを実践 <p>リアルなビジネス現場の教材(成功・失敗事例)を用い、データ重視(感覚ではなく根拠で考える)の姿勢を身につける。チームでの実践(議論→協働→発表→フィードバック)を通じて、現代的テーマ(SNS、デジタル、社会課題)に取り組み、キャリア直結(企画・営業・広報・起業に生きるスキル)の力を養う。企画・マーケティング職を目指す人、地域おこし・まちづくりに関心がある人、ビジネス・起業に興味がある人、SNS・デジタルマーケティングを学びたい人、「なぜ？」を考えるのが好きな人、受け身ではなく議論・発表する授業を求めている人に最適です。なお、履修上の注意として、グループワーク中心のため積極的参加必須。PC・タブレット持参推奨。発表機会が複数回あり。</p> |
|---|

芸術

| | | | |
|--------|-----------------------------|----------|---------------------------|
| 科目番号 | 2L-1 | 科目名 | 音楽表現 I (管楽器・フルート) |
| 大学等名 | 活水女子大学 | 担当教員 | 草場 紀久子(音楽学部音楽学科 教授) |
| 開講形態 | 既存科目・前期 | 曜日 | 木曜日 |
| 教養・専門別 | 専門 | 時限 | 3時限 |
| 単位数 | 2単位 | 開講期間 | 令和8年4月7日(火)～令和8年7月24日(金) |
| 授業定員 | 50人(うち単位互換定員5人) | 開講時間 | 13時00分～14時30分(90分)「毎週木曜日」 |
| 履修年次 | 1年次以上 | 試験・評価方法 | 授業時の理解度 50%、実演発表 50% |
| 開講場所 | 活水女子大学 | 実習費等 | なし |
| 選考方法 | 書類選考 | その他の特記事項 | なし |
| 連絡先 | 活水女子大学 教務課 TEL 095-820-6016 | | |

科目内容

| |
|---|
| <p>半期で取り組む楽曲を実演出来ることを到達目標とする。</p> <p>楽器の実演を通して、音楽理論の基礎を確認しながら、楽譜を読む力を付けていくことをテーマとする。</p> <p>毎回授業の前半で音階や基礎的な項目にあたり、音楽理論を理解する。</p> <p>毎回授業の後半で楽曲をとおして譜読みの力を付け、演奏する。</p> |
|---|

芸術

| | | | |
|--------|-----------------------------|----------|---------------------------|
| 科目番号 | 4L-1 | 科目名 | 音楽表現Ⅱ(管楽器・フルート) |
| 大学等名 | 活水女子大学 | 担当教員 | 草場 紀久子(音楽学部音楽学科 教授) |
| 開講形態 | 既存科目・後期 | 曜日 | 木曜日 |
| 教養・専門別 | 専門 | 時限 | 3時限 |
| 単位数 | 2単位 | 開講期間 | 令和8年9月18日(金)～令和9年1月22日(金) |
| 授業定員 | 50人(うち単位互換定員5人) | 開講時間 | 13時00分～14時30分(90分)「毎週木曜日」 |
| 履修年次 | 1年次以上 | 試験・評価方法 | 授業時の理解度 50%、実演発表 50% |
| 開講場所 | 活水女子大学 | 実習費等 | なし |
| 選考方法 | 書類選考 | その他の特記事項 | なし |
| 連絡先 | 活水女子大学 教務課 TEL 095-820-6016 | | |

科目内容

半期で取り組む楽曲を実演出来ることを到達目標とする。
 楽器の実演を通して、音楽理論の基礎を確認しながら、楽譜を読む力を付けていくことをテーマとする。
 毎回授業の前半で音階や基礎的な項目にあたり、音楽理論を理解する。
 毎回授業の後半で楽曲をとおして譜読みの力を付け、演奏する。

言語

| | | | |
|--------|-----------------------------|----------|--|
| 科目番号 | 4O-1 | 科目名 | アカデミック・ジャパニーズⅣa |
| 大学等名 | 活水女子大学 | 担当教員 | 吉村 大樹(国際文化学部国際文化学科 准教授) |
| 開講形態 | 既存科目・後期 | 曜日 | 水曜日 |
| 教養・専門別 | 専門 | 時限 | 3時限 |
| 単位数 | 2単位 | 開講期間 | 令和8年9月18日(金)～令和9年1月22日(金) |
| 授業定員 | 50人(うち単位互換定員5人) | 開講時間 | 13時00分～14時30分(90分)「毎週水曜日」 |
| 履修年次 | 1年次以上 | 試験・評価方法 | 定期試験(50%)、授業中の発言・取り組む姿勢(30%)、ミニレポート(20%) |
| 開講場所 | 活水女子大学 | 実習費等 | なし |
| 選考方法 | 書類選考 | その他の特記事項 | なし |
| 連絡先 | 活水女子大学 教務課 TEL 095-820-6016 | | |

科目内容

この授業では、明治時代から昭和初期までの書き言葉、近代日本語についての基礎知識を学習する。
 近代日本語は現代の日本語と比べると語彙、文法の両領域で大きく異なる点がある。
 一方、現代日本語でも近代語的表現が用いられることも少なくない。
 そこでこの授業では近代日本語の文法を概観したのち、実際のテキストを読みながら現代日本語との対応関係、また現代日本語における近代語的表現に親しむことを目的とする。

なお、日本語能力試験 N2以上のレベルの学生を対象とする。受講生には予習・復習はもちろんのこと、授業への積極的な参加を期待する。